

九州女子大学および九州女子短期大学におけるオープンキャンパス参加者数と入学者数の関係性

関 洋 輔

九州女子大学人間科学部心理・文化学科 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1 (〒807-8586)

(2023年11月6日受付、2024年1月15日受理)

要 旨

オープンキャンパスとは、大学や短期大学、専門学校など高等教育機関が主催となり、学校の雰囲気をはじめとして施設や設備環境を公開する進学イベントを指すことが多い。

主なターゲットは入学を希望、検討している高校生や受験生であるが、近年では保護者や家族を対象とした傾向も見られる。在学生や教職員による見学ツアーや模擬授業、進学相談などの特徴が挙げられ、参加者は様々な情報収集が可能であり、ミスマッチを防ぐ側面もある。参加者のアンケート結果や新入生とのコミュニケーションで得た内容をプロトコル分析すると、オープンキャンパスの参加経験は志望校の決定に一定の影響を与えるようである。今回はオープンキャンパスの参加者数に注目し、入学者数との関係性について考察を行った。

相関係数の結果からオープンキャンパス参加人数が増加すれば、入学者数も増加する可能性があるが、みかけの相関や疑似相関に注意が必要である。

今後は結果の信頼性や信用性を高めるため、併設校や協力可能な他大学の分析、相互相関係数や学科ごとにデータの経年変化を解析する予定である。また、実施時期、回答者の属性（学年、所属など）や参加回数、保護者や同行者、参加者満足度などをはじめとしたアンケート項目にも注目していきたい。

【はじめに】

オープンキャンパスとは、大学や短期大学、専門学校など高等教育機関が主催となり、学校の雰囲気をはじめとして施設や設備環境を公開する進学イベントを指すことが多い。

主なターゲットは入学を希望、検討している高校生や受験生であるが、近年では保護者や家族を対象とした傾向も見られる。在学生や教職員による見学ツアーや模擬授業、進学相談などの特徴が挙げられ、参加者は様々な情報収集が可能であり、ミスマッチを防ぐ側面もある。参加者のアンケート結果や新入生とのコミュニケーションで得た内容をプロトコル分析すると、オープンキャンパスの参加経験は志望校の決定に一定の影響を与えるようである。

九州女子大学・九州女子短期大学では経営企画本部内にIR推進室が設置されている。学内における教育の質向上、教職員や学生の支援、健全経営の提案などが目的であり、様々なデータを収集し解析を行うことで解決の一助となる分析結果を示さなければならない⁽¹⁾。今回はオープンキャンパスの参加者数に注目し、入学者数との関係性について考察を行った。

【材料と方法】

九州女子大学・九州女子短期大学において、2018年～2022年に実施されたオープンキャンパス参加者数(表1)と2019年度～2023年度の4月入学者数(表2～4)を利用し、表計算ソフトExcelを用いて統計学における共分散と標準偏差からピアソンの積率相関係数を算出し、データ解析を行った。

オープンキャンパス参加者数

年	2018	2019	2020	2021	2022
人数	928	1012	722	837	749

(表1)

注

- ・高校生や受験生に配布したアンケートの回収結果による数値である。
- ・九州女子大学および九州女子短期大学において、2018年～2020年は6回、2021年～2022年は7回（2022年は短大のみ8回）開催しているため、複数回参加者が存在するが、重複は除かない。

4月入学者数（全入学者数）

年	2018	2019	2020	2021	2022
人数	470	453	468	472	369

(表2)

4月入学者数（大学入学者数）

年	2018	2019	2020	2021	2022
人数	349	336	329	340	278

(表3)

4月入学者数（短期大学入学者数）

年	2018	2019	2020	2021	2022
人数	121	117	139	132	91

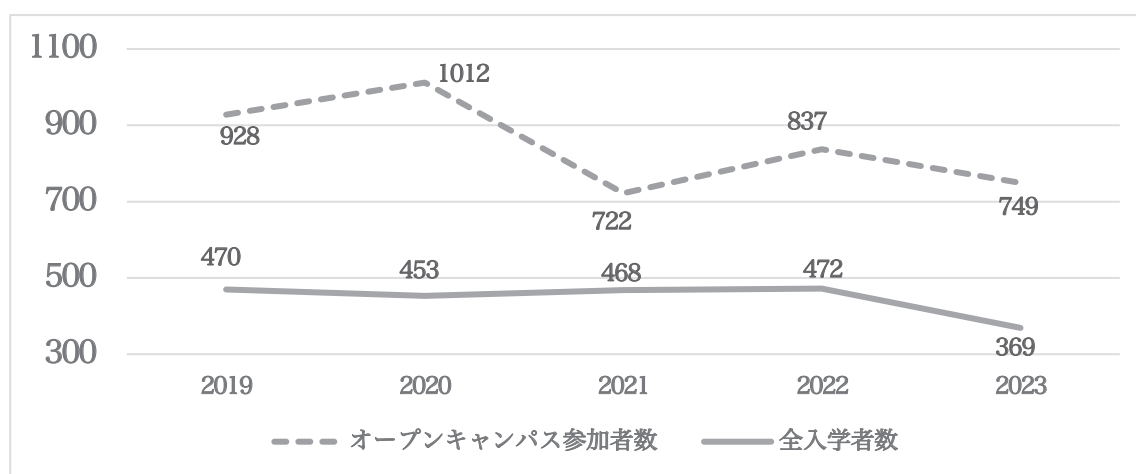
(表4)

【結果】

オープンキャンパス参加者数と4月入学者数（全入学者数）を利用し、ピアソンの積率相関係数（ r ）を算出することで2つの直接的な関係性を解析した。数値は $r=0.357$ を示したため、弱い正の相関（ $0.2 \leq r \leq 0.4$ ）である（図1）。

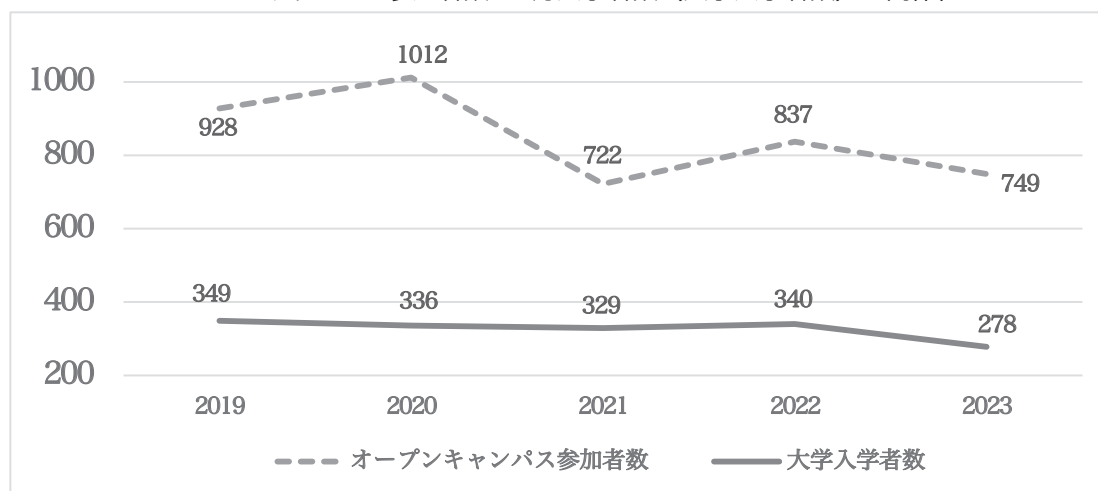
同様に解析を行い、オープンキャンパス参加者数と4月入学者数（大学入学者数）の数値は $r=0.565$ を示したため、正の相関（ $0.4 \leq r \leq 0.7$ ）であり（図2）、オープンキャンパス参加者数と4月入学者数（短期大学入学者数）の数値は $r=-0.0074$ を示したため、相関なし（ $-0.2 \leq r \leq 0.2$ ）であった（図3）。

オープンキャンパス参加者数と4月入学者数（全入学者数）の関係性



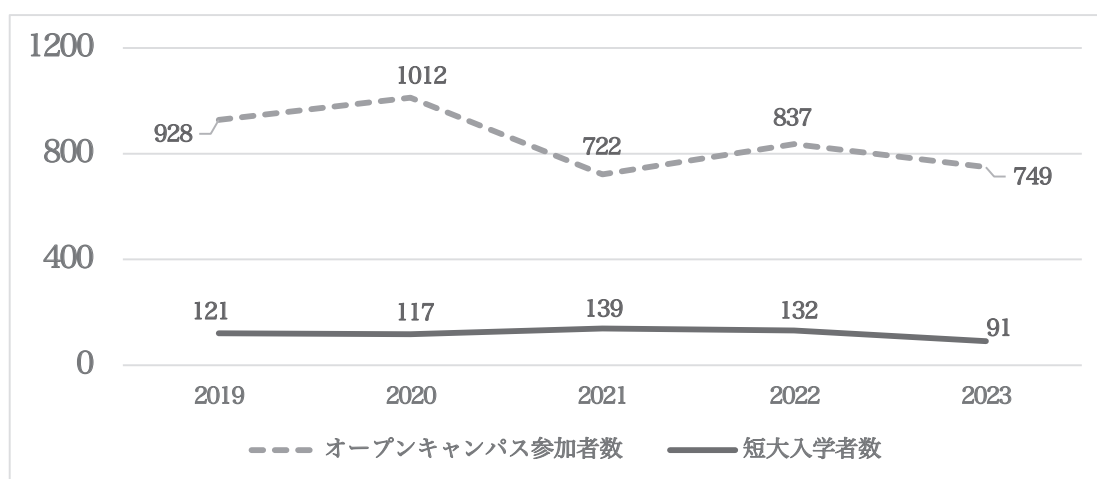
(図1)

オープンキャンパス参加者数と4月入学者数（大学入学者数）の関係性



(図2)

オープンキャンパス参加者数と4月入学者数（短期大学入学者数）の関係性



(図3)

【考察】

オープンキャンパス参加人数と4月入学者数（全入学者数）の関係性は、ピアソンの積率相関係数 $(r) = 0.357$ 弱い正の相関である。この結果から、「オープンキャンパス参加人数が増加すれば入学者数もある程度増加する可能性がある。」といえる。

また、オープンキャンパス参加人数と4月入学者数（大学入学者数）の関係性は、ピアソンの積率相関係数 $(r) = 0.565$ 正の相関である。この結果から、「オープンキャンパス参加人数が増加すれば入学者数も増加する可能性がある。」といえる。

大学の学生募集活動において、明確なタクティクスや戦略がない場合、短絡的ではあるが差し当たりオープンキャンパスの参加者を増やす努力が効果を得られやすいと提案する。しかし、参加者の目的がみかけの相関や疑似相関の可能性もあるため、注意が必要である。

オープンキャンパス参加人数と4月入学者数（短期大学入学者数）の関係性は、ピアソンの積率相関係数 $(r) = -0.0074$ 相関なしである。この結果から、「オープンキャンパス参加人数と入学者数は特に関係がない。」といえる。

短期大学の学生募集活動において、大学同様にオープンキャンパスにおけるコンテンツの充実に加え、大学ホームページ、XやInstagramをはじめとしたSNS媒体の活用により、認知度を上げることが効果的であ

ると提案する。

また、各年度におけるオープンキャンパス参加人数に対する入学者数の割合は（表5）である。

各年度におけるオープンキャンパス参加人数に対する全入学者数の割合

年	2018	2019	2020	2021	2022
人数	50.6%	44.8%	64.8%	56.4%	49.3%

(表5)

5年間の平均値は53.2%であるため、「オープンキャンパス参加人数の約半数が入学予定者である。」という推定ができる。想定外の数値となった場合、オープンキャンパスの追加開催が打開策となる可能性を指摘する。この場合、近隣の教育機関のイベントや予備校等の模擬試験の実施日、高等学校の行事日などを回避することが重要となる⁽²⁾。

九州女子大学は家政学部（生活デザイン学科、栄養学科）、人間科学部（児童・幼児教育学科、心理・文化学科）で構成している。今後は結果の信頼性や信用性を高めるため、併設校や協力可能な他大学の分析、相互相関係数や学科ごとにデータの経年変化を解析する予定である。また、実施時期、回答者の属性（学年、所属など）や参加回数、保護者や同行者、参加者満足度などをはじめとしたアンケート項目にも注目していきたい。

【謝辞】

本調査においてご協力いただいた学校法人福原学園入試課の皆様に関心より感謝申し上げます。

【参考】

- (1) 『大学のIR Q&A』 玉川大学出版部 2018年
- (2) 『大学IRスタンダード指標集 教育質保証から財務まで』 玉川大学出版部 2018年

Relationship between the number of open campus participants and the number of enrolled students at Kyushu Women's University and Kyushu Women's Junior College

Yosuke SEKI

Department of Psychology and Culture, Faculty of Humanities Kyushu Women's University
1-1 Jiyugaoka, Yahatanishi-ku, Kitakyushu-shi, 807-8586, Japan

Abstract

An open campus is often an event sponsored by a university or junior college that exposes the school's facilities and environment to the public. The main targets are high school students and prospective students who wish to enroll. Recently, there has also been a trend towards targeting parents and families. Features include mock classes taught by students and teachers and counseling for higher education. Participants can collect a variety of information and can prevent mismatches.

It seems that the experience of participating in an open campus has a certain influence on the decision of the school of choice. This time, we focused on the number of participants in open campus events and analyzed the relationship with the number of enrolled students.

If the number of participants in the open campus increases, the number of students enrolled may also increase. However, one must be careful about spurious correlations.

In the future, in order to increase the reliability of the results, we plan to analyze changes in data over time for each department.